

令和6年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号:8月24日(土)③

担当部局・担当課名:厚生部薬事指導課

事業名	富山県献血推進事業	評価結果	一部改善/現行どおり・拡充
-----	-----------	------	---------------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・献血ができるのは高校生になってからであるが、小中学生の段階から献血の重要性を啓発してはどうか。子供から親へ献血を勧めてくれることもある。
- ・市町村にも主体的に啓発してもらえるよう、市町村との連携強化や活動の支援を検討してはどうか。
- ・若年層に対しては、街頭でのティッシュ配布やポスターの掲示よりも、SNSを活用してPRするほうが効果的。

【県民評価者の意見】

- ・献血の呼びかけをしている方の年齢層が高い。若い人に声をかけられた方が、若年層は献血しやすい。
- ・学校に献血車が来れば、友達も誘ってたくさんの若者が献血してくれるのではないかな。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数	18
---------	----

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (事業の役割は終えて いるため廃止)	役割分担 見直し (県ではなく市町村で 実施)	抜本的改善 (例:グッズ配付をや め、別の方法に変更)	一部改善 (例:市町村との連携、 血液センターに対する 支援)	現行どおり ・拡充
	0	0	0	9	9 (現行5、拡充4)
県民 評価者 の 主 な コ メ ン ト	【一部改善】 ・献血に来た方のきっかけや理由を調査し、より有効な普及啓発に活かせないか。 ・複数回献血した人へのグッズをもっと魅力的なものにする、または選択肢を増やすべき。 ・予算の使い方が毎年同じに見えるので、再考してほしい。 ・SNSやインフルエンサーを活用したPRを行う。 【現行どおり・拡充】 ・関心はあるが貧血気味で献血をしたことがない。食事指導のイベントとあわせて献血の呼びかけをすれば、健康増進にも献血の推進にもつながるのではないかな。 ・献血を受け入れる側の限界もあるので、現行どおりで良い。ただし、ボランティアの方々の負担は改善するべき。 ・「親子で献血キャンペーン」など、熱心に献血を続けてくれる方々が子世代へ活動を繋いでいく仕組みを増やす。 ・市町村別の若年層の献血率を公表して、市町村と一緒にPRしてはどうか。				

【参考】委員による評価

委員総数	4
------	---

評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり ・拡充
	0	0	0	1	3 (現行1、拡充2)

事業名	富山県献血推進事業	評価結果	一部改善/現行どおり・拡充
-----	-----------	------	---------------

【県の対応】

今後の 対応方針	拡充	事業内容の見直し・拡充			
	○特に若年層に向けた献血の普及啓発を強化するため、①街頭でのポケットティッシュ配布からSNSを活用した広報へ見直し、②複数回献血者への記念品の見直し、③新たにSNS投稿キャンペーンを企画するなど、啓発手法を見直し ○日本赤十字社の取組みと重複していた多数回献血者への表彰を廃止				
令和7年度 当初予算 での対応	R7当初予算 (要求額)	3,780(千円)	R6当初予算	4,080(千円)	増減額 ▲ 300(千円)
	増減理由	新たにSNS投稿キャンペーンの実施費用の増加と多数回献血者表彰(個人)について同様の表彰を行う日赤との重複により廃止したことに伴う副賞費の節減			

当初予算編成プロセスの見える化

令和7年度当初予算	要求状況	要求額	3,780(千円)		前年度予算額	4,080(千円)
		事業の目的	献血運動の推進及び普及啓発に取り組むことで、県内医療に必要な血液を安定的に確保するもの			
		事業内容	①普及啓発活動 全国キャンペーンの実施に合わせた献血運動の推進 複数回献血キャンペーンの実施(記念品をSNS映えを意識したものに変更) SNS投稿キャンペーンの実施 ②献血功労団体の表彰(多数回献血者表彰(個人)は廃止) ③献血推進協議会の開催 ④合同輸血療法委員会・講演会の開催			
		積算内訳	①2,846千円、②132千円、③507千円、④295千円			
	予算編成過程における議論		レビューにおける意見を踏まえ、新たに若年層向けキャンペーンの実施など、見直しが行われている。			
	最終的な予算案	予算額	3,780(千円)			
		要求時点からの変更点	変更なし			